



令和6年度（2024年度）

第 17 回 定 例 庁 議

令和6年12月24日(火)午前8時30分～
第一応接室（担当：総合戦略室 内線1111）

1 報告事項

- (1) 生成A I の活用について……………（総合戦略局）

庁 議 日 程 に つ い て

第18回定例庁議	1月 8日(水)	8時30分～
第19回定例庁議	1月28日(火)	8時30分～

(報告事項)

庁 議 資 料
6. 1 2. 2 4
総 合 戦 略 局

生成A I の活用について

1 趣旨

本市では、令和5年6月にガイドラインを定め生成A I の業務活用を進めています。この度、ガイドラインの見直しに合わせ具体的な活用方法をまとめましたので報告するとともに、職員の活用を促すものです。

2 経過

- 5. 6. 5 庁議においてデモンストレーションを行い、利用について意見交換
- 2 7 Chat GPT等の生成A I の利用にあたってのガイドライン策定
- 6. 1 1. 2 7 生成A I 利用ガイドラインとして改定

3 ガイドラインの見直しのポイント ※ガイドライン（本編及び付録）は別冊のとおり

- (1) 職員がより理解しやすいように文章表現を修正
- (2) 利用できる生成A I として、Chat GPT、Microsoft Copilot 及びGoogle Geminiの3サービスを指定
- (3) 具体的な活用方法をまとめた「付録（Appendix）」を新規に作成

4 活用方法 ※ガイドライン付録（Appendix）から抜粋

(1) 効果的な活用シーン

- ア 企画業務：挨拶文、計画書、パンフレット等のたたき台の作成、アンケート作成など
- イ 窓口業務：業務マニュアル、回答文の素案、提出書類のチェックリスト作成など
- ウ 内部業務：内部文書検索、通知文の素案、引継書、起案文作成など
- エ 共通：議事録や通知文の要約、メール文の素案や要綱作成、法令確認、文書校正など

(2) より良い回答を得るための指示（プロンプト）のコツ

プロンプトとは、生成A I に特定の仕事をさせるための指示を与えるテキスト入力のことです。生成A I はプロンプトを理解して、質問者の意図に沿った応答や生成物を応答するため、適切な指示をすることでより良い回答を得ることができます。

- ア 回答形式（文字数、書式等）を指定する
- イ テンプレート等で回答してほしい条件を詳細に指示する
- ウ 重ねて質問することで回答を改良する
- エ 出典の記載を指示する

オ 「記述アシスタント」における指示（プロンプト）の例

職員

#挨拶者

松本市役所の総合戦略局長

#聞き手

新たに総合戦略局へ配属となった職員20代から30代の職員10名

#内容

4月の人事異動に当たっての訓示

#キーワード

「脱東京一極集中」、「多極集住」、「国際文化観光都市」、「女性と若者に選ばれるまち」

#文字数

・800文字

5 今後の進め方

- (1) ガイドラインを参照し、積極的に生成AIを活用してください。
- (2) 業務への活用を促進するため、松本市独自の内部文書の情報を応答する機能（RAG機能）を有した生成AIサービスの導入に向け検討を進めます。

担当 DX推進本部
次長 島村 守
(内線 54210)

【参考】他自治体における生成AIの高度な活用事例

山梨県	議会答弁作成の支援に利用。AIを「赤ペン先生」役にし、人が作った下書きを何度もチェックさせ答弁の質を高めている。
横須賀市	福祉窓口で利用者と職員の会話記録を生成AIで要約することに利用し、記録を残す負担を削減している。
町田市	オンライン手続きを案内するサービス「AIナビゲーター」を開始。手続き名が分からなくても3Dアバター（分身）が候補の手続きを提案してくれる。